

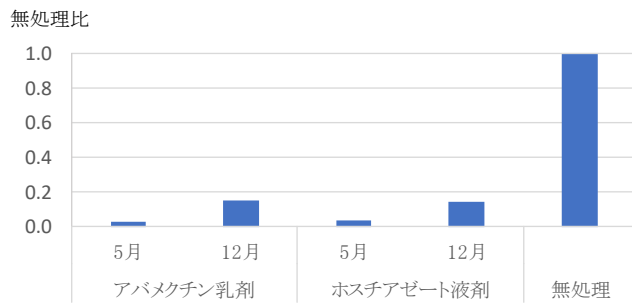
イブキ盆栽のネグサレセンチュウの防除方法

イブキ（ビヤクシンあるいはシンパク）はEU諸国でも人気のある盆栽ですが、輸出するにあたっては、植物寄生性線虫がないことが条件となっています。しかし、生産現場では線虫が寄生している場合が多く、これまでは、盆栽の土を洗い流した後に薬剤を処理して健全な土に植えなおしていましたが。この方法は土を洗い流すため、盆栽の生育に悪い影響がありました。

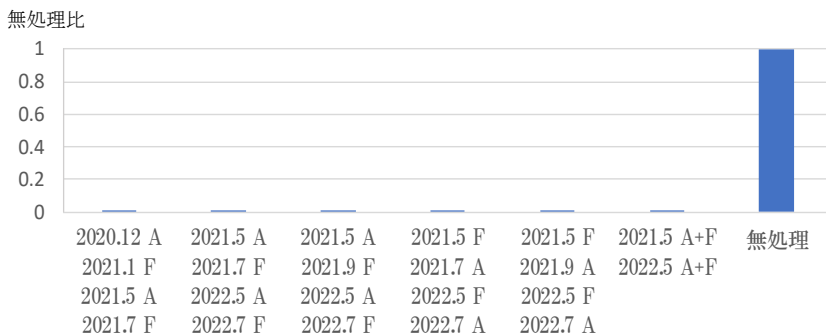
そこで新たな対策技術の検討を行い、2年間にわたって2種類の登録薬剤を単独あるいは混用して鉢ごと浸漬処理すれば、ネグサレセンチュウをほぼ根絶できることが明らかとなりました。



鉢ごと薬液に一定時間浸漬する

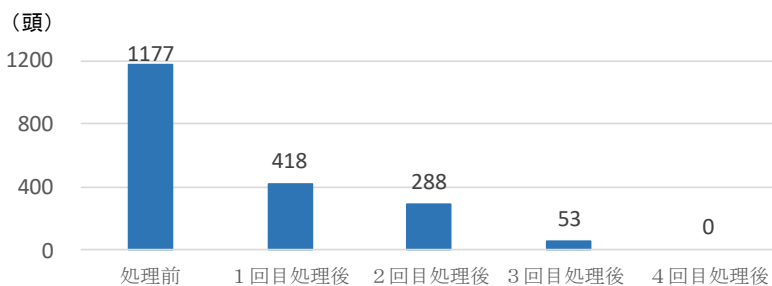


1回の処理では根絶できない



A : アバメクチン乳剤
 F : ホスチアゼート液剤
 A+F : 混用
 薬剤前数値は処理年月

それぞれの薬剤は1年に1回しか使用できないが、2年間継続すればどのように組み合わせても根絶できる



2年間に合計4回薬剤処理したときの寄生した線虫数の推移の一例
 薬剤処理するたびに減少し、4回処理でいなくなる

(病害虫研究担当 TEL 048-536-0409)